

アジェンダ21すいた

第50号

平成31年4月25日発行

「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味です。「アジェンダ21すいた」は、市民・事業者・行政が力を合わせて、持続可能な社会の実現を目指すパートナーシップ組織です。

ニュースレター

CONTENTS

- ご存知ですか？SDGs 1
- すいた環境教育フェスタ① 2
- すいた環境教育フェスタ② 3
- すいた環境教育フェスタ③ 4
- すいた環境教育フェスタ④ 5
- くるくるアースフェスタ 6
- はらっぱビンゴ 7
- 各種募集・イベント案内 8

ご存知ですか？SDGs

SDGs（持続可能な開発目標。エス・ディー・ジー・ズと読みます）は、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された2016年から2030年までの国際目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

アジェンダ21すいたには、エネルギー部会、資源部会、自然部会、フラッグシッププロジェクトの地球温暖化防止プロジェクト、食品ロスプロジェクトがあります。それぞれの活動は、SDGsの目標に重なる部分が多く、とくに⑰実施手段「パートナーシップで目標を達成しよう」は、市民・事業者・行政の三者協働で活動するアジェンダ21すいたそのものです。一緒に、持続可能な社会を実現させましょう。



SDGs 17のゴール

令和元年度定時総会を開催！

とき：7月15日（月・祝）
場所：千里山コミュニティセンター
内容：アジェンダ21すいたの平成30年度の活動報告や令和元年度の活動計画を議論します。
ご興味のある方はぜひ、ご参加ください。

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。（外務省HPより引用）

（地球温暖化防止プロジェクト&幹事 池淵 佐知子）

すいた環境教育フェスタ①(資源部会、フラッグシッププロジェクト)

さる2月2日、メイシアターで行われたすいた環境教育フェスタで資源部会は給茶コーナーを担当しました。限りある資源を大切に、ペットボトルや缶などのごみ減量と、環境を守る、をコンセプトにマイカップ、マイボトル、ペットボトル持参の方々にほうじ茶を無料提供させていただきました。このコーナーはなかなかの盛況で、子供連れの若い家族も多く、ペットボトル、飲料缶の有害ごみのパネルなどに関心を持たれ、また、くじ引きに一喜一憂していました。

そして、この日吹田市小中学校の環境学習発表会も開催されていて、会の終了後生徒たちが立ち寄ってくれました。この子供たちのマイボトル持参の意識も高く、学校へも毎日マイボトルを持っていっているそうです。

給茶コーナーには167名(昨年89名)の方が来られました。マイボトル持参84名(昨年38名)マイカップ持参24名(昨年22名)、リユースカップ54名(昨年27名)昨年より随分多くの人たちに提供できて嬉しいです。今回はマイボトル、マイカップを持参すれば値引きになる特典のあるカフェやコンビニなどの地図を掲示できなくて残念でしたが、このようなお店をもっと増えるようになればと思いました。



ブースの様子

(食品ロス削減プロジェクト&資源部会 伊藤 智子)

食品ロス削減PTでは、食品ロスを減らそうと缶バッジを参加者に配布しました。この啓発活動のキャラクターは「ペロリンコ」といいます。クイズに答えるとマイボトルやお茶のパックが当たる抽選に参加でき、さらに缶バッジがもらえます。この日は同じ会場で環境部による「リユース服コーナー」が設けられ、赤ちゃんや子供服が一人5点までもらえるあって、開場すぐから大変、盛況でした。人の流れがアジェンダブースを通してそちらへ流れるため、私たちのブースも開店と同時に大にぎわい。午前中で抽選も缶バッジの配布も終了してしまいました。

展示パネルで、「食品ロスの日本の現状」「食品ロス削減に役立つ冷蔵庫収納」「海洋プラスチックとプラスチックごみ」を紹介しました。クイズの答えは、ほぼパネル内に書かれている内容で、次のようなものでした。皆さんも試してみてください。



缶バッジ

- (1) 海の汚染と生き物の生命に大きな影響を与える物は次のうちどれですか?
①紙ごみ ②プラスチック
- (2) あなたはお買い物にマイバッグを持って行きますか?
①持って行く ②持って行かない
- (3) 日本で、まだ食べられるのに捨てられている食品はどのくらいですか?
①621万トン ②6210トン
- (4) 国民一人当たりのペットボトルに年間使用料は何本(500mlのもの)ですか?
①180本 ②36本
- (5) 日本茶の消費量が多い都道府県はどこですか?
①静岡県 ②京都府

【答え】1-② 3-① 4-① 5-①

(2)のマイバッグについては96%の人が持って行くとの回答で、昨年6月から北摂7市3町と協定を結んだスーパーでは、レジ袋無料配布中止となり、マイバッグ持参は日々の生活に定着して来ていることが感じられます。

(食品ロス削減プロジェクト&資源部会 水川 晶子)

すいた環境教育フェスタ②(エネルギー部会)

エネルギー部会では、「エコキャンドル講座」と「ストップ地球温暖化展示」を行いました。エコキャンドル講座については、机とイスの配置の関係から、1回の受講者を9名までに限定し、開始時間を11時、13時、14時、15時と定めたことで、各回順調に講座を進めることができました。事前に氏名を記入してもらう予約登録制を採用したことも功を奏しました。開始時間に会場にいない場合は、予約のキャンセルと見なし、その場で参加希望者を改めて探すことで、子どもを中心に毎回満員の受講者となりました。

ブースに立ち寄っても、すでに予約が満員になっていたため、キャンドルづくりに参加できなかった子どもが数名おり、たいへん申し訳ない思いがありました。限られたスペースでしたが、机の配置を工夫すれば各回もう2～3名は参加してもらえたかもしれません、次回の課題となりました。

ストップ地球温暖化については、パネルと「火力発電実験装置」を展示しました。エコキャンドル講座でキャンドルが固形化するまでの間に、環境学習に取り組んでもらおうとの意図でしたが、講座の受講に関係なく、多くの方が見に来てくれました。

しかし、タービンが途中で動かなくなってしまう、こちらも申し訳ない思いをしました。それでも子どもたちは興味をもって装置を見てくれました。圧力釜の蒸気噴出力が低下してしまったようで、釜やノズルを保温することで解決できると考えられるので、次回までに修理をしておきます。



エコキャンドル講座のブース風景

(エネルギー部会 馬場 慶次郎)

すいた環境教育フェスタ・オープニングの様子



ガールスカウト大阪府第21団による「すいたんダンス」



エネルギー部会の中野氏が「環境すくい」を披露



運営委員会委員長 荒堀 尚氏



吹田市長 後藤 圭二氏

すいた環境教育フェスタ③(NPO法人すいた環境学習協会)

2018年度のすいた環境教育フェスタが15団体+吹田市の参加で、2月2日(土)メイシアターで、開催されました。SELFも2004年度以来連続で15回目の出展を果たしました。今回は、5組9クラブの活動組織のうち「もったいない組」が担当しました。

テーマは「考えよう!プラスチックごみのこと」としました。海洋に流出したプラスチックごみは、何百年も何千年も分解されずに、魚介類を通じた食物連鎖で人間に大きな影響を与えることで、その対策を世界レベルで求める声が大きな唸りとなっています。

使い捨てプラスチックの扱いに警鐘を鳴らす展示と両翼には、SELFの活動内容がわかる展示をしました。中心部では、もったいない組独自の取組

である「ごみ分別体験ゲーム」「環境クイズ」「牛乳パックを利用した紙工作」で雰囲気をもりあげました。子どもには紙工作が人気の的でした。自作した「跳ねガエル」「ぶんぶんゴマ」「紙飛行機」で楽しそうに遊んでいました。ごみ分別ゲームは、そのユニークな取り組みに関心を寄せて頂きました。唯、全体では、以前のように6月の環境月間に、メイシアターの内外を活用したダイナミックなフェスタに戻せないかな、との感慨が蘇りました。

(NPO法人すいた環境学習協会 牛田 敏英)



SELFのブースのにぎわい

すいた環境教育フェスタ④(NPO法人すいた市民環境会議)

吹田の古木・大木調査報告

私たちは今回、2017年度に実施した「大木調査」についてパネル展示をしました。「大木調査」というのは、吹田市の大木を幹周り200cm以上と決め、大木が何本あるのか歩き回って調べるのです。1997年から10年ごとに調査し、今回が3回目。身近な自然を知り、大切にしようとする多くの市民が参加しました。1997年には420本、2007年には928本、そして2017年は1710本という結果でした。しかし2017年10月と2018年9月に猛烈な台風に見舞われ、再調査を実施したところ残念なことに大木67本が倒れていました。

フェスタでは調査のようすを動画で流し、大木地図や写真のほか、倒木や病気、開発による伐採など吹田の木々を取り巻く課題をパネル展示しました。また段ボールで大木模型を作ってブース前にどーんと置きました。ブースを訪れた皆さんは例年より多く約270人。模型の幹周りを測って大木を実感。「吹田にこんな太い木があるんや」「意外にたくさんあるんやね」などなど会話がはずみ、「大型台風に対して大木はどう備えたらええんやろ」などと話し合いました。2017年大木調査の結果は今春、冊子としてまとめる予定です。



大木の模型に抱き着く来場者の方々

(NPO法人すいた市民環境会議 喜田久美子)

すいた環境教育フェスタ⑤(大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部)

大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部のブースでは、ゼミナールで地球環境問題を研究している国際学部の学生が作成したポスターを展示しました。

ポスターは「食品ロス問題」と「地球温暖化問題」に関して調査した内容を掲載しているもので、前者は同問題の現状や原因、対策などについて数値を用いて具体的にまとめており、後者は同問題の原因や対策、野生生物への影響などについてイラストを用いて分かりやすくまとめたものでした。

今回の出展を通じて、学生はゼミナールで取り組んでいる各自が問題を発見して、それを調査・研究し、その成果をまとめて発表したり、レポートを作成したりする手法を学ぶことを実践できました。加えて、地球環境の諸問題について理解を深めるとともに、広い視野で物事を見る力を養うこともできました。



ゼミナールの学生たち

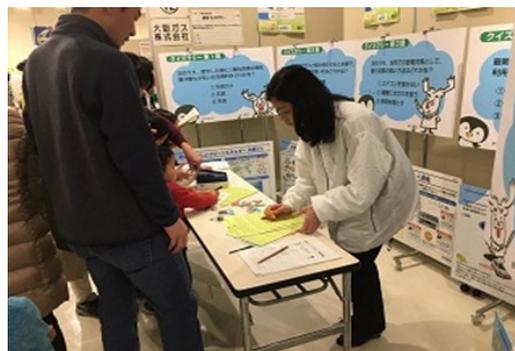
また、大学近隣のオープン化粧品株式会社様が開催しているローズウィーク（同社ばら園の一般開放イベント）とコラボレーションした「OPPEN×OGUフォトコンテスト2018」の入選作品を掲載したパネルも展示し、生物多様性の保全などを呼び掛けました。

(大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部 南 智幸)

すいた環境教育フェスタ⑥(大阪ガス株式会社)

大阪ガスブースはこれまでエネファームなどの環境にやさしく、省エネ効果の高いガス機器の展示を中心に参加してまいりましたが、本年は趣を変え、来場された方が参加し、楽しんでいただける環境クイズラリーを実施いたしました。

クイズは弊社が進めております、環境にやさしい天然ガス活用のPRや地球温暖化など小学校高学年以上向けで、内容は少し難しかったのですが、皆さんヒントパネルを参考に楽しそうに答えていただきました。また、小さいお子様も、保護者の方の助けでしっかり回答していただきました。



クイズの答え合わせ中

景品の野菜消しゴム（野菜の形をした消しゴム）が非常に好評で、昨年までの実績を踏まえ、多めの120個用意していたのですが、イベント終了の1時間前にはすべてなくなりました。ブースへの来場者も150名を超え、前年の3倍近くになりました。また、本イベントは、弊社がご提案させていただいたカーボンオフセットを採用いただき、温室効果ガス削減を实践したイベントとして実施していただきました。

(大阪ガス株式会社 荒堀 尚)

くるくるアースフェスタ(フラッグシッププロジェクト)

平成31年2月17日(日)、ららぽーとEXPOCITYで開催された、(公財)千里リサイクルプラザ主催の「くるくるアースフェスタ」に参加しました。

展示ブースでは、フラッグシッププロジェクトの地球温暖化防止プロジェクトのひとつで平成28年度と平成29年度の2年間で撮影した「すいた、わたしのエコ宣言」を展示しました。同時に、光の広場にありますが巨大なスクリーンにも、エコ宣言をつなぎあわせて動画にしたエコ宣言のムービーを上映しました。2年間でおおよそ1,000人の方にエコ宣言をしていただいたのですが、そのことをエキスポシティで成果として発表できてよかったです。

また、展示ブースのテーブルには、「すいた、わたしのエコ宣言」にある省エネルギー行動した場合、どれだけエネルギーが節約でき、どれだけお得になるか、という、「地球にうれしい、お財布にもうれしい」ことをクイズ形式で見える形にしたエコクイズも置きました。

そのほかにも、ガンバ大阪所属選手の直筆サイン入りパネルもしくはポスターが合計8名様に当たる抽選会を開催しました。これは、環境に関するアンケートに回答してくださった方々のなかから抽選を行うというもので、興味のある環境問題について、地球温暖化防止のために取り組んでいる取り組み例について尋ねました。

また、アンケート内でSDGs(持続可能な開発目標)の認知度を聞いたあとに、その横のブースでSDGsの「17つの目標」から関心のあるテーマを選んでもらうコーナーも設けました(複数回答)。

その結果、「3:健康と福祉」(11人)、「4:質の高い教育」(11人)、「6:きれいな水と衛生」(11人)に関心のある方が多く、次に、「2:飢餓をなくす」(7人)、「8:ディーセント・ワークと経済成長」(7人)となりました。環境に関連のあるテーマからいくつか取り上げると、「13:気候変動へのアクション」及び「14:海洋資源」が各6人、「7:誰もが使えるクリーンエネルギー」及び「12:持続可能な消費と生産」がそれぞれ4人でした。それに対して、「15:陸上の資源」は、1人と少なかったです。

当日は、「アジェンダ21すいた」の活動にいつも協力してくれている市内大学の学生さんたちも、イベントを手伝ってくれました。若い人が一緒に活動していただくと、活気が生まれます。

さらに、「アジェンダ21すいた」以外のブースでも、木のおもちゃで遊んだり、子ども用自転車をこいで電気をつけたり、また、紙すきや、木切れで小物を作ったり、というように体験型のブースが多くたくさんの方が集まっていました。



エコ宣言の展示 一例



吹田市長 後藤 圭二氏のご挨拶

はらっぱビンゴ～身近な自然の不思議を発見～（自然部会）

平成31年3月23日（土）に千里北公園において、小学校1～4年生を対象に子どもたちに、自然に触れより身の周りの環境に興味をもってもらうためのビンゴゲーム形式のイベントを開催しました。主催はすいた環境学生ネットワーク（SENS）、アジェンダ21すいた自然部会と吹田市は共催という形での参加となりました。

当日は3月末にしては肌寒い中、30名の小学生とその保護者の方の参加があり、元気いっぱいのイベントでした。ビンゴカードの9つのマスに書かれた“自然”を集めて、それぞれの不思議体験をしてミッションクリアです。

後半は、菅井啓之先生（京都光華女子大学教授）の実際に“はらっぱ”を回りながらの観察会で、とっても楽しい解説をしてくださり、子どもたちはもちろんSENSの大学生たちも自然の不思議を満喫しました。

とても楽しいイベントで、四季おりおりの自然を見つけるというのもいいので恒例にしてもいいかなとの声も部内ではありました。

（自然部会 馬場 多佳子）



京都光華女子大学教授 菅井先生のご挨拶



当日使用したビンゴカード



草笛を吹いてみよう



よもぎの香りを嗅いでみよう

各種募集・イベント案内

令和元年度アジェンダ21すいた定時総会

アジェンダ21すいたの平成30年度の活動内容の報告をします。また、令和元年度の活動計画を議論しあい、今後の活動の方向性を決めます。

- ◆とき／令和元年7月15日（月・祝）午後1時00分から（予定）
- ◆ところ／千里山コミュニティセンター
- ◆主催／アジェンダ21すいた
- ◆問合せ／吹田市環境部環境政策室（TEL：06-6384-1782）へ。



「みどりのカーテン講座」参加者募集！

各ご家庭でできるヒートアイランド対策を紹介します。ゴーヤの苗の植え方も実演でレクチャーします。参加者には、苗を配布予定ですので持ち帰り用の袋をご持参ください。みなさんのご家庭の窓際やベランダにみどりのカーテンをつくって、涼しい夏を迎えませんか。

- ◆とき／令和元年5月25日（土）午前10時00分から午前11時30分
- ◆ところ／男女共同参画センター（デュオ）視聴覚室
- ◆主催／アジェンダ21すいた ◆参加費／無料
- ◆申込み／先着50名（5月7日（火））から電話か、ファックスでイベント名・住所・氏名・電話番号を記載のうえ、アジェンダ21すいた事務局（吹田市環境部環境政策室内）まで

第13回「市民環境講座」開講！

「より良い都市環境づくり」をテーマに、進化しつつある都市環境づくりについて考えます。詳しくは下記、ホームページまで。

- ◆とき／6月8日（土）、15日（土）、23日（日）、30日（日）
午後2時00分～午後4時00分
- ◆ところ／男女共同参画センター（デュオ）
- ◆主催／NPO法人 すいた環境学習協会（SELF）
- ◆ホームページ／<http://npo-self.main.jp/>

ホームページで、イベント情報や活動スケジュールなどをお知らせしています。

イベント情報や活動スケジュールなどの情報を掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。
ホームページ <http://www.ag21suita.org/>

アジェンダ21すいた入会のご案内

持続可能な社会をめざして、一緒に活動しましょう！

【会費】

- ◆正会員 個人1,000円／年
団体5,000円／年
- ◆賛助会員 1口1,000円／年
- ◆準会員 無料

【会員特典】

ニュースレター・各種案内資料の送付
部会活動への参加、主催行事への参加など

アジェンダ21すいたニュースレター

第50号（平成31年4月25日発行）

発行：アジェンダ21すいた事務局

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

吹田市環境部環境政策室内

TEL：06-6384-1782 FAX：06-6368-9900

E-mail：env-seisaku@city.suita.osaka.jp

企画・編集：アジェンダ21すいた『エコセン』